

## 脳・心臓疾患のリスク評価の方法（例）

**ステップ1** 血圧の評価：表1により対象者の血圧を評価、分類します。

↓

**ステップ2** 高血圧以外の脳・心臓疾患の危険因子評価：表1により対象者の高血圧以外の脳・心臓疾患の危険因子を評価します。

↓

**ステップ3** 脳・心臓疾患のリスク評価：ステップ1とステップ2の情報を元に、表3を用いて脳・心臓疾患のリスク評価を行います。

表1 血圧の分類

		収縮期血圧 (mmHg)		拡張期血圧 (mmHg)
正常域血圧	至適血圧	<120	かつ	<80
	正常血圧	120 - 129	かつ/または	80 - 84
	正常高値血圧	139 - 139	かつ/または	85 - 89
高血圧	I度高血圧	140 - 159	かつ/または	90 - 99
	II度高血圧	160 - 179	かつ/または	100 - 109
	III度高血圧	≥180	かつ/または	≥110
	(孤立性)収縮期高血圧	≥140	かつ	<90

(高血圧治療ガイドライン 2014年版から作成)

表2 高血圧以外の脳・心臓疾患の危険因子

高血圧以外の心血管病の危険因子	
① 年齢	65歳以上
② 喫煙	
③ 脂質異常症	低 HDL コレステロール血症 <40 mg/dl 高 LDL コレステロール血症 ≥140 mg/dl 高トリグリセライド (TG) ≥150 mg/dl
④ 肥満	BMI ≥25 (特に内臓脂肪型肥満)
⑤ メタボリックシンドローム	腹腔内脂肪蓄積に加えて、2項目以上
⑥ 若年 (50歳未満) 発症の心血管病の家族歴	
⑦ 糖尿病	空腹時血糖 ≥126 mg/dl 負荷後血糖 2時間値 ≥200 mg/dl 随時血糖 ≥200 mg/dl HbA1c ≥6.5% (NGSP 値)

(高血圧治療ガイドライン 2014年版から作成)

※別表 メタボリックシンドロームの診断基準（8学会策定新基準 2005）

腹腔内脂肪蓄積	ウエスト周囲径 男性 $\geq 85\text{cm}$ 女性 $\geq 90\text{cm}$ (内臓脂肪面積 男女とも $\geq 100\text{cm}^2$ に相当)
上記に加えて下記のうち2項目以上	
① 脂質値	トリグリセライド (TG) $\geq 150\text{ mg/dl}$ かつ/または HDL コレステロール $< 40\text{ mg/dl}$
② 血圧値	収縮期血圧 $\geq 130\text{ mmHg}$ かつ/または 拡張期血圧 $\geq 85\text{mmHg}$
③ 血糖値	空腹時血糖 $\geq 130\text{ mg/dl}$

表3 診察室血圧とその他の危険因子に基づいた脳・心臓疾患リスクの評価

	I 度高血圧	II 度高血圧	III 度高血圧
リスク第一層（予後影響因子がない）	低リスク	中等リスク	高リスク
リスク第二層（糖尿病以外の1～2個の危険因子、または3項目を満たすメタボリックシンドローム）	中等リスク	高リスク	高リスク
リスク第三層（糖尿病、慢性腎臓病（CKD）、あるいは臓器障害/心血管病の存在、4項目を満たすメタボリックシンドローム）	高リスク	高リスク	高リスク

（高血圧治療ガイドライン 2014 年版を一部改変）

注：「予後影響因子」、「危険因子」は、表2、別表の「高血圧以外の脳・心臓疾患の危険因子」を参照してください。